横暖ルーフ	工法	既存屋根材
	重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

3）軒先部

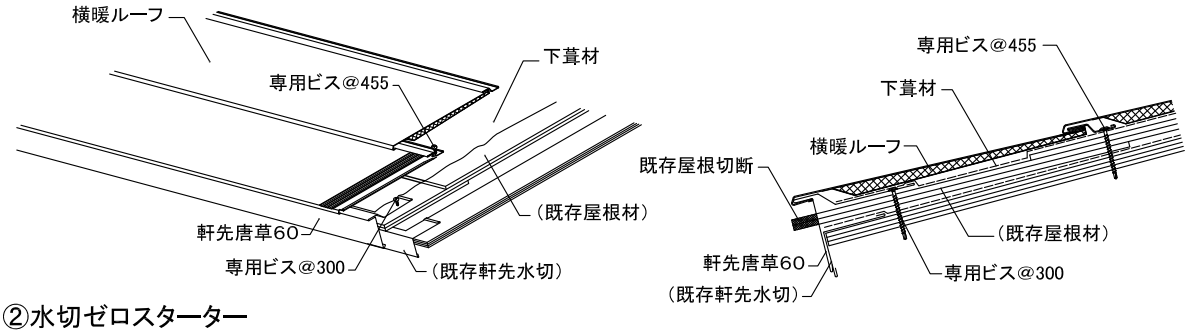
①軒先唐草60

●既存屋根材の軒先が揃うように既存屋根材を切断します。

※軒先面を切断せず施工することも可能ですが、その場合、既存雨樋の取付位置を横暖ルーフに合わせて移動させる施工が別途必要となります。

●軒先唐草60は専用ビス（ステンレスドリスビスφ４．４㎜×５５㎜）を用いて、３００㎜以下の間隔で野地板に留め付けます。

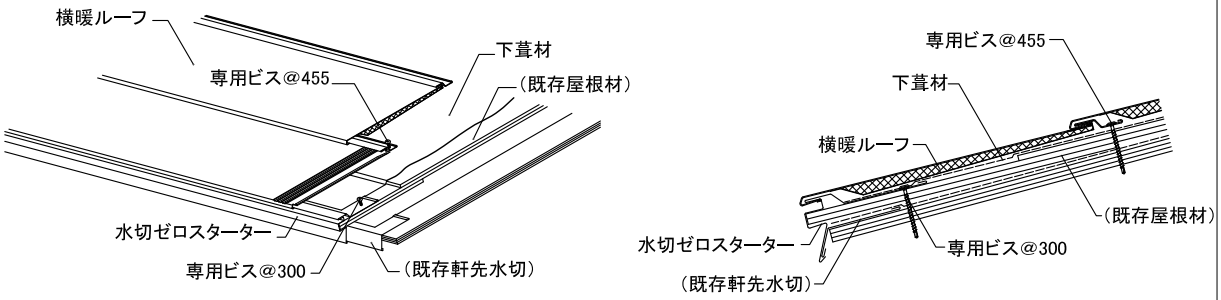
●図のように下葺材を張り、横暖ルーフは軒側実を軒先唐草60に差し込み、棟側実を専用ビス（ステンレスドリルビスφ４．４㎜×５５㎜）を用いて、４５５㎜以下の間隔で垂木に留め付けます。



②水切ゼロスターター

●既存屋根材の軒先に水切ゼロスターターを差し込み、専用ビス（ステンレスドリルビスφ４．４㎜×５５㎜）を用いて、３００㎜以下の間隔で野地板に留め付けます。

●図のように下葺材を張り、横暖ルーフは軒側実を水切ゼロスターターに差し込み、棟側実を専用ビス（ステンレスドリルビスφ４．４㎜×５５㎜）を用いて、４５５㎜以下の間隔で垂木に留め付けます。



③セットバックスターター

●既存屋根材の軒先にセットバックスターターを差し込み、専用ビス（ステンレスドリルビスφ４．４㎜×５５㎜）を用いて、３００㎜以下の間隔で留め付けます。

●図のように下葺材を張り、横暖ルーフは軒側実を水切ゼロスターターに差し込み、棟側実を専用ビス（ステンレスドリルビスφ４．４㎜×５５㎜）を用いて、４５５㎜以下の間隔で垂木に留め付けます。

